

## 印西市立図書館のサービス評価指標報告(平成27年度)

### (1)印西市立図書館のサービス評価指標概要

#### 1. 目的

印西市立図書館の運営の改善を図るため、サービス評価指標を設定しその達成に努めます。また、その達成状況の自己点検及び第三者評価を踏まえて図書館サービスの一層の改善に努めるとともに、その運営状況を公表します。

#### 2. 期間

平成26年度から平成28年度までの3年間

#### 3. 評価項目

評価指標項目を表のとおり17項目設定した。

#### 4. 第三者評価として図書館協議会への報告

(1)協議会の開催 平成28年6月23日(木)

(2)総評(意見)

- ・「学校教育支援・家庭教育支援の資的拡充」について、小中学生向けにブックリストを作成しているようだが、学校図書館にブックリストに掲載してある本の展示をしてもらったほうがよいのではないか。
- ・図書館のホームページが新しくなったことに伴って、ホームページの使い方に関する事業を行い、多くの方に広めることはできないか。

#### 5. 印西市立図書館サービス評価表(平成27年度)

別表のとおり

印西市立図書館サービス評価表(平成27年度)

区	サービス評価指標	H28年度目標値	達成方法	平成27年度実績・成果	改善点
1 所蔵資料の充実	①資料購入冊数	平成28年度目標 15,000冊	① 市民の読書、調査研究活動を支援するために必要な資料の収集を進めます。 ② 各館の地域の特性や利用状況等を考慮した蔵書構成に努めます。	目標を達成しなかった。 ①資料購入冊数 12,280冊 予算が要望通りには確保できなかったが、前年度に比べ購入冊数は228冊増加した。 ②各館の地域特性や利用状況を考慮して蔵書構成に努めた。	各館の利用状況をふまえて蔵書構成を見直す。 市民の読書研究活動の支援に必要な資料を購入するための予算の確保に努める。
	②印西市関係資料の受入冊数	平成28年度目標 1,000冊	① 印西市および周辺地域に関する資料の収集に努めます。 ② 他機関との連携を強化し、資料の収集や情報の交換に努めます。	目標を達成しなかった ①郷土資料受入冊数 841冊 (うち印西関係資料受入 510冊) ②他機関と連携し、情報や資料の収集に努めた。	さらに生涯学習課や、情報管理課など、庁内の他機関との連携を強化し、幅広く資料の受け入れに努める。 必要に応じて索引や目録を作成する。
2 利用・情報の提供促進	③貸出点数	平成28年度目標 862,000点	① 利用者層や利用目的に対応したサービスの充実に努めます。 ② 館内展示・ホームページ等を活用し、積極的な資料の紹介に努めます。	概ね目標を達成した。 ①貸出点数 831,620点 前年度より貸出冊数が2,061点減少した。小林・そうふけ・印旛・本埜の4館では貸出点数が増加したものの、大森・小倉台では貸出点数が減少している。 ②ホームページで文学賞、ブックリスト紹介を継続的に行った。「としょかんつうしん」でも「図書館職員のおすすめの1冊」や各館の展示コーナーの紹介を行った。	館内展示をはじめ、「としょかんつうしん」、ホームページ等を利用し、積極的に資料の紹介に努める。 利用者の知的欲求を満たすことのできる、魅力ある資料の収集を図る。 蔵書構成を見直し、利用者の読書意欲をより高めるよう努める。 各館で資料の移籍を行い、新鮮味のある書架作りを努める。
	④貸出者数	平成28年度目標 252,000人	① 利用者層や利用目的に対応したサービスの充実に努めます。 ② 館内展示・ホームページ等を利用し、積極的な資料の紹介に努めます。	概ね目標を達成した。 ①貸出者数 249,608人 前年度より、貸出者数が3,085人増加した。大森以外の5館で貸出者数は増えた。 ②ホームページで文学賞、ブックリスト紹介を継続的に行った。「としょかんつうしん」でも「図書館職員のおすすめの1冊」や各館の展示コーナーの紹介を行った。	積極的に事業や展示を行い、図書館に足を運びやすい環境づくりを進める。 利用者の知的欲求を満たすことのできる、魅力ある資料の収集を図る。 ホームページの内容を充実させ、図書館利用を促進させるとともに、より利用しやすい内容にするための見直しを継続して進める。
	⑤資料予約件数	平成28年度目標 117,000件	① 窓口受付に加え、利用者へのパスワード発行を促進して、インターネットによる予約の増加を図ります。	目標を達成した。 予約受付件数 117,861件 予約受付件数が前年度より1,047件増加した。	館内掲示やホームページ等で本の紹介を充実させるなど、利用しやすい環境づくりを行い、利用の促進に努める。
	⑥市内登録者数	平成28年度目標 38,500人	① ブックスタート事業や他機関に働きかけを通じ、市民に図書館について積極的に広報を行い、利用の促進に努めます。	目標を達成しなかった。 市内登録者数 29,919人 (平成28年3月末人口 95,185人) 登録率 31.4% ブックスタートや転入時の際など他機関に働きかけ図書館についての広報を行った。	登録数を増やすため、図書館の利用について、転入者等を対象とした図書館の紹介や、広報を活用するなどして、積極的に周知(アピール)する機会を設けていく。

印西市立図書館サービス評価表(平成27年度)

区	サービス評価指標	H28年度目標値	達成方法	平成27年度実績・成果	改善点
	⑦ホームページへのアクセス件数	平成28年度目標 600,000件	① 市立図書館ホームページ上の検索機能の向上、表示項目など最新情報の掲載に努め、内容の充実を図ります。	目標値を達成した。 アクセス件数 626,792件 昨年度と比較して26,236件減少したのは、システム更新のに伴い、平成28年1月31日午後5時から2月12日午前9時までホームページが使用できなかったためと思われる。	行事案内やお知らせなどの情報は常に最新の状態を維持し、内容の充実に努める。 システムの更新によりホームページの機能向上を図り内容をより充実させるよう努める。
	⑧開館日数	開館日・開館時間の拡大	① 限られた費用と職員体制で可能な開館日の拡大を検討し利用機会の促進を図ります。	大森と小倉台においては、土日と重なる祝日の2日間に加え、5月4日～6日と9月21日～23日の大型連休を対象とした6日間、合わせて8日間の祝日開館の試行を行った。 開館日数 大森・小倉台 294日(祝日開館8日間を含む) 小林・そうふけ・印旛 286日 本埜 284日(千葉県議会議員選挙及び印西市議会議員選挙の為2日休館)	大森・小倉台図書館の2館については、平成28年度元日以外の祝日についても開館を施行し、開館日の拡大について検討を行う。
	⑨図書館からの情報発信	としょかんつうしんや、子ども向けおすすめ本リストを発行します	① としょかんつうしんを発行し、図書館で行っている情報をお知らせします。(年6回) ② 子ども向けのおすすめ本リスト(「えほんのくに」「ほんのタネ!」「Book de Go!」などを発行し、子どもたちに図書館に所蔵している本の紹介を行います。	①「としょかんつうしん」を6回発行し、図書館で開催する事業の情報を提供することができた。また、事業や、市の広報等で、図書館の活動を紹介することができた ②子ども向けのおすすめ本リスト(「えほんのくに」(3回)「ほんのタネ!」(1回)「Book de Go!」(1回))を発行し子どもたちに図書館に所蔵している本を紹介することができた。	定期的に「としょかんつうしん」や子ども向けのブックリストを発行し、図書館の情報を積極的に提供していく。 図書館の情報を、図書館のホームページや市の広報などにも載せるなどで、積極的に提供する。
3 レ ファ レン ス サ ー ビ ス の 充 実	⑩レファレンス件数	平成28年度目標 23,000件	① 利用者へレファレンスサービスについて積極的に広報し、利用の促進に努めます。 ② 図書館で回答しにくい質問等については、他機関等との連携により適当な専門機関などを紹介するよう努めます。 ③ 利用者への明るい対応を心がけるとともに、フロアワークを推進して気軽に相談できる雰囲気作りにも努めます。 ④ レファレンス専用カウンターを各館に設置して、利用しやすい環境を整えます。	目標を達成しなかった。 ①レファレンス件数 21,444件 前年度と比べて519件増加した。 インターネットや閲覧ツールの普及により、自己解決する利用者が増加していると思われる。 ②相互貸借実績 県内相互貸借 貸出 2,982冊 借用 3,325冊 国会・県外 貸出9冊 借用 88冊 県内相互貸借については、貸出・借用ともに横ばいとなっている。	レファレンスサービスやその活用法、相互貸借について周知を図る。 調査・相談に対応できる資料の収集を図る。 職員のレファレンス技術の向上を図り、相談しやすい体制を整える。
	⑪調査研究支援ツールの充実	レファレンス事例集の充実を図ります。	① レファレンス事例集の充実を図ります。 ② 市民の調査研究を支援するため、特定のテーマや展示等に関連したパスファインダーを作成し、利便性の向上を図ります。	・レファレンスの記録を各館で実施している。 ・ホームページにレファレンス事例集の掲載を始めた。	各館のレファレンス事例を整理し、必要なものは公開し内容の充実を図る。 パスファインダーの公開に向けての研究に努める。

印西市立図書館サービス評価表(平成27年度)

区	サービス評価指標	H28年度目標値	達成方法	平成27年度実績・成果	改善点
情4 報印 の西 市充 実関 係	⑫印西市関係情報の発信	質的充実を図ります。	① 印西市関係のテーマ企画展を実施するほか、市民ニーズが高い課題やテーマについての定期的な情報発信に努めます。	・各図書館で、地域のミニコミ誌等の図書以外の地域資料の収集、閲覧を行った。 ・印西市に関する新聞記事などを集めて、閲覧提供した。	社会教育関係団体や市民活動団体等の活動に関心をもち、資料の収集・整備を行う。 今後も、図書以外の地域資料に関しても積極的に収集し情報を提供する。
5 学 校・ 家 庭 教 育 支 援 の 充 実	⑬学校教育支援・家庭教育支援の質的充実	学校図書館や子育て支援施設と連携して子どもの読書活動の推進に向けた支援や連携を進めます。	① 各施設への講師派遣によるブックスタートへの参加、絵本の読み聞かせ、ブックトークなどの実施や、支援用に必要な内容のブックリストの配布などを行います。 ② 図書館職員と学校図書館関係者等の連携の推進を図ります。 ③ 学校への団体貸出やスクール便等を活用し、学校への読書支援を行います。 ④ 小・中学校の職業体験を積極的に受け入れます。	①・小学校へのブックトークを3回行った ・小・中学生向けのおすすめブックリストを年1回発行し、小・中学校の児童・生徒に配布した。 ・4ヶ月児相談の際のブックスタートに参加した。 ・小学校のボランティアに「読んであげよう」「本の修理講座」の出前講座を4回行った。 ②学校図書館担当者会議に年1回、学校図書館司書連絡会議に年3回参加した。 ③市内小学校19校・中学校6校にスクール便を3回行った。また、市内の小中学校に対して、小学校17校3,204冊、中学校4校690冊の団体貸出を行った。 ④小学校5校、中学校7校からの職業体験の依頼を受け入れた。	今後も、学校図書館関係者との連携強化に努め、ブックトークやスクール便、団体貸出等により、市内の小・中学校や子育て支援施設への読書支援を継続的に行う。 子ども向けのブックリストの定期発行に努める。 今後も小・中学校からの職業体験の依頼を積極的に受け入れる。
実6 児 童 サ ー ビ ス の 充 実	⑭児童サービスの内容の充実	児童サービス内容を検討し、質的向上を図ります。	① 子どもの発達に対応した児童サービスの向上をめざし、基本から専門までの知識、技能を身につけられるよう、研修への参加を促し、スキルアップを図ります。 ② 子供たちの図書館への興味や読書推進につながるような事業の展開や資料の収集・提供に努めます。	①県立図書館や県公共図書館協会の主催する研修に参加した。 ②・おはなし会や図書館クイズ・ブックスタンプラリーなど児童向けの事業を通じ、子どもたちへの読書推進を図ることができた。 ・児童向けのブックリストを作成し、子どもたちへの読書推進を図る事ができた。	職員の児童資料に関する知識・読み聞かせ等の技術の向上を図る。 図書館利用の説明や、おはなし会などの児童向け事業を積極的に行う。 魅力的なテーマ別の展示を行い、貸出の促進を図る。
ス7 の ハ ン デ ィ キ ャ ッ プ サ ー ビ	⑮体制整備	要領・マニュアル等の整備人材の育成	① 広報やホームページ等で宅配等障害者サービスについて積極的にPRするとともに、利用者の拡大に努めます。 ② 利用者の要望の聴取に努めます。 ③ さまざまなハンディを持つ利用者にサービスできるよう、職員のスキルアップを図ります。 ④ 対面朗読や読み聞かせ等のボランティア体制を整えます。 ⑤ さまざまなハンディを持つ利用者へ提供できるよう、点字や大活字本などの資料の収集・充実に努めます。	・平成28年3月末現在、小倉台図書館で1名の宅配利用者があった。 ・県立図書館の主催する講座に参加した。 ・音声資料や大活字本などの収集に努めた。	市広報やホームページ等でハンディキャップサービスの内容について周知する。 社会・高齢者・介護保険・障がい福祉課や関連施設の窓口にて「対面朗読」や「宅配」のチラシを配置してもらい周知に努める。 プレクストーク、拡大読書機等の機器の周知に努め利用を促進する。 音声資料、大活字本の収集に努める。 平成28年度は、対面朗読ボランティアの育成を図るため、大森図書館で「対面朗読ボランティア養成講座」を開催する予定。

印西市立図書館サービス評価表(平成27年度)

区	サービス評価指標	H28年度目標値	達成方法	平成27年度実績・成果	改善点
8 職員 研修 等 の 充 実	⑩研修への参加	スキルアップを図る研修への参加	① 県立図書館や公共図書館協会などが主催する実践的研修に積極的に参加します。 ② 課題解決に向けた自主研修を励行します。 ③ 教育センター等の市の機関と連携し、お互いの職員のスキルアップが図れるような研修を行えるよう連携の強化を図ります。 ④ 上記①②③で得た情報を職員間で共有し、図書館サービスの拡大に役立てます。	各種研修等に参加し、図書館業務の向上を図った。 研修実績 ・公共図書館新任職員研修会(3名)児童サービス基礎研修会(1名)レファレンス研修会(初任職員)(6名)障害者サービス研修会(1名)障害者読書支援器活用研修会(1名)課題解決支援サービス研修会(1名)新任図書館長研修会(1名)児童奉仕スキルアップ研修会(1名)経営研究会(1名)サビエ図書館活用研修(1名)読み聞かせボランティア入門講座(2名)先進図書館運営研修会(1名) ・参加した研修については、報告書を作成し回覧することで、情報の共有化を図った。	今後も県主催等の研修に参加し職員のスキルアップを図る。 できるだけ研修に参加できるよう、職員の勤務体制の調整を図る。 各館で業務の向上につながる自主研修を行う。
	⑪図書館ボランティアの育成	講座等の開催により、読み聞かせや対面朗読などのボランティアを養成します。	① 図書館ボランティアについての先進事例を調査研究し、ボランティア育成のための基盤作りを進めます。 ② 要領・マニュアルの見直しを行います。	・大森図書館・中央公民館共催事業「読み聞かせボランティア講座」を開催し、参加者19名中14名にボランティア登録をもらった。 ・各図書館のイベントやおはなし会でボランティアに協力を要請し参加してもらった。 ボランティア登録数は、平成28年3月末現在で個人47名、団体7組となっている。	各図書館のイベントやおはなし会などで積極的にボランティアに協力を要請し参加してもらうように努め、活用を進める。また、読み聞かせだけでなく対面朗読に関してもボランティアの育成も図る。